

令和7年度公立学校における帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業 実施体制

(太田市教育委員会)

プレクラス(拠点校)とブロック別集中校システムとの連携による指導・支援体制の整備

【課題】

太田市の外国人児童生徒は年々増加し、多国籍化している。日本文化、日本の学校、日本語等を知らないまま、小・中・義務教育学校へ入学する外国籍児童生徒に対し、受入体制と指導体制を整備する必要がある。

【実施事業の概要】 ※実施事業すべてを支援事業の対象とする

1. 小学校入学前の幼児や保護者を対象としたプレスクール
2. 拠点校の設置等による指導体制の構築
3. 「特別の教育課程」による日本語指導の実施
4. 就学时健康診断前の事前調査及び電話連絡
5. 多言語による高校進路ガイダンスの実施

市教委による
指導・助言

1. 小学校入学前の幼児と保護者を対象としたプレスクール

プレスクール

～ 就学前の外国籍幼児と
保護者へのサポート ～

- ①参加希望者数 R7 22名
- ②活動内容
〈外国籍幼児に対して〉
 - ・日本語指導
 - ・学校生活への適応指導
〈保護者に向けて〉
 - ・母語による情報提供
※プレクラスアドバイザー
母語が分かる支援員による指導

2. 拠点校の設置等による指導体制のモデル化

初期指導教室 **プレクラス(拠点校)**
～ 初期指導計画に基づく日本語指導と学校への適応 ～

- ①構成員
※アドバイザー1名
※母語が分かる支援員(日本語指導員)4名
(ポルトガル語2・スペイン語1・タガログ語1)
- ②修了者数
・R7 28名(2月16日現在)
- ③活動内容
・児童生徒への日本語の初期指導(40日間)
・学校への適応指導
・保護者ガイダンス

3. 「特別の教育課程」による日本語指導の実施

市内小・中・義務教育学校41校を 8ブロックに
集中校 (国際教室設置校)

- ①校数及び教員数
小学校24校中11校 中学校16校中5校
義務教育学校1校中0校
国際教室担当教員 25名
※母語が分かる支援員 25名
(バイリンガル教員6名・日本語指導員19名)
- ②日本語指導が必要な児童生徒数 R7 546名
- ③指導内容
○「特別の教育課程」による個別の指導計画作成
○「特別の教育課程」に基づくきめ細かな指導
○取り出し指導(日本語)
○入り込み指導(各教科等)

市内幼稚園・保育園・こども園と連携

4. 就学时健診前の事前調査及び電話連絡

- 母語が分かる支援員による電話連絡
- ①対象者数 R7 162名
 - ②活動内容
・就学意思の有無の確認
・就学时健診の連絡 等

5. 多言語による進路ガイダンスの実施

- ～ 外国人生徒のよりよい進路の実現 ～
- ①対象者 市内の小中学生と保護者
 - ②活動内容 多言語による高校進路ガイダンス

非集中校

編入可

プレクラス(拠点校)の初期指導を終えた
児童生徒と保護者によるアンケートによる評価
(肯定的評価100%)

「特別の教育課程」による
個別の指導計画作成 (達成率100%)
個別の指導計画目標達成 (達成率80%)

中学3年生の高校進学
(進学率91%)